



誤嚥と肺炎球菌 ワクチン接種について

「最近、痰がうまく切れ

ないのよ」とおっしゃる方がいます。よくよく話を聞くと、食事を食べている最中や食後にむせ、

その後に痰や咳が出るというのでした。

こういった方は食事を食べるのが速すぎたり、



松原 清二 医師

在宅療養支援診療所「まつばらホームクリニック」院長
総合内科専門医・循環器内科医
・日本循環器学会専門医
・日本内科学会認定医
・認知症専門医
・認知症サポート医

に60歳以上の肺炎では誤嚥性肺炎は6割、70歳以上の肺炎では8割が誤嚥によるものといわれています。

口の中には肺炎球菌が常在菌としていて、これが原因菌となります。対応としては、日頃から口

飲み込む能力が落ちてし

まい、誤嚥、肺炎に繋がる

ことがあります。肺炎は

日本人の死因で5番目に

あたる疾患で、高齢にな

るにつれて誤嚥のリスク

は高くなり、罹患する可

能性も高くなります。特

にもよく知られていま

す。

これまで5年ごとに

ニューモバックスNPW

ワクチンを行うことが推

奨されていますが、肺炎

球菌による肺炎が従来の

ニューモバックスNPW

ワクチンでカバーしてい

る原因とは異なる型が肺

炎の原因として出ている

ことが問題として挙げら

れ、またニューモバック

スワクチン自体は液性免

咳の出る方、また免疫能

力の落ちていいる方、心

患のある方など肺炎が重

篤化しやすい方には、積

極的にキャップバックス

やプレベナーなどの肺炎

球菌ワクチンを推奨して

いきます。

以上を踏まえて、日頃

の診察でむせや持続的な

心答の長い、具体的には

一生に一回のプレベナー

【まつばらホームクリニック】
 ☎042-439-1250
 matsubarahomeclinic@gmail.com
 西東京市東町 4-14-18-2F
 ■電話対応：午前9:00～午後6:00
 ■定休日：土日（祝日は診療）
 ■訪問地域：西東京市、東久留米、新座・練馬の一部
 まつばらホームクリニック 検索